



明治大学校友会

MEIJI
UNIVERSITY

福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒815-0063 福岡市南区柳河内1-9-29-1F

（株）伸正 内

TEL 092-553-0506

風のふくおか



46号

2021年1月

支部長ご挨拶

校友の皆様、新年おめでとうございます。

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナウイルスが蔓延し、自粛生活が続き外出もままならぬ状況でした。

校友会も活動の基本となる代議員大会は中止され、支部長会・幹事長会も書面決済の現状でした。校友の一大イベントである全国校友大会香川大会も中止に追い込まれました。この大会に向け万全の準備をされていた香川県支部の皆様は、さぞかし無念であっただろうと察する次第であります。校友と直接交流し高らかに校歌を歌えることの素晴らしさと重要さを改めて感じた年でした。大学はこの様な状況の中でも、しっかりと教育活動を続けてあります。大学の状況等は、紫紺NETの「明治大学校友会NEWS」で見ることが出来ます。是非、紫紺NETに登録していただき大学の現況を知っていただきたいと思っております。2020年11月25日発行128号の一部を掲載いたします。是非アクセスをお願いします。

その中の「Pick Up!」で新型コロナウイルスの影響を受けた学生への緊急支援資金のお願いがあります。学業を断念しなければならぬ学生もいるとの事です。皆様の温かいご支援をお願いいたします。

コロナウイルス禍の終息は簡単でないでしょうが、個人が危機感を持って対処することで、元の当たり前の生活を取り戻せると信じています。今年の全国校友福島大会は是非開催され、皆さんと肩を組んで声高らかに「白雲なびく駿河台」と歌いましょう。

福岡市地域支部支部長 矢谷 学 (S50法卒)

— 「明治はひとつ」 —

| 明治大学 校友 News |

— 2020年11月25日発行第128号 —

本メールは明治大学校友会紫紺NETの登録ユーザに送信されています。

登録の各種変更は「紫紺NET」 <http://meiji-shikon.net/>

にログインし上部バーの「設定変更」から行うことが出来ます。

「Pick Up!」新型コロナウイルスの影響を受けた学生への緊急支援資金

-学生の修学機会が奪われないために皆様のお力をお貸しください-新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、家計支持者の失業や収入減、学生自身のアルバイトの機会の喪失など、学生の修学継続に暗い影を落としています。こうした状況を受け、本学では中長期的な視点で学生の学びを支えていくために「学生・教育活動緊急支援資金」を設定し、ご協力をお願いしております。

ひとりでも多くの校友の皆様にご賛同いただき、この資金を通じて本学学生へ力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「同心協力」、「明治はひとつ」

詳細は下記URLをご覧ください。

<https://www.meiji.ac.jp/bokin/serf.html>



関東大学ラグビー対抗戦 優勝!

●●● Topic

テレビでご覧になった方も多いかと思いますが、12月6日行われたラグビーの関東大学対抗戦で明大は早大に勝ち、2年連続18回目の優勝を決めました。早大は全勝、明大は1敗でしたが、この試合の結果両校6勝1敗で並び、直接対決で制した明大が逆転優勝したわけです。コロナ禍の中、後輩たちは頑張りました。

試合では箸本主将や森本君（共に東福岡高校出

身）らの活躍もあり、「迷ったら前が出る明治スタイル」を意識して攻撃の手を休めなかったと箸本主将は話していました。

昨年は対抗戦を全勝で制しながら、大学選手権では早大に負けているのでより一層気を引き締めて全国制覇に向かってほしいものです。

（写真は関東ラグビーフットボール協会提供）



箸本主将



森本君



“がんばれ 明治!”

明大校友会台湾支部の近況

●●● Topic

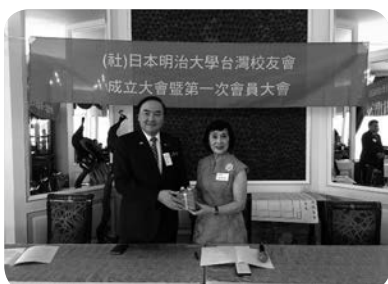
2020年、新型コロナのためにお互い総会などでの交流ができなかった1年でしたが、いち早くコロナ対策で成功し落ち着きを取り戻した台湾の様子を、鍾幹事長が伝えてくれました。台湾支部は林支部長のもと新たな飛躍をしているようです。

「今年の総会は開催されませんでした。が、（社団法人）明治大学校友会台湾支部の設立総会を8月16日に台北で行いました。そして、11月28日から29日に林支部長他家族や校友20名程度で嘉義方面にプ

チ旅行に行ってきました。来年は高雄に行こう等とワイワイガヤガヤ楽しできました」

ただ、2021年3月（旧暦正月）の新年会が開催されるか心配しています。台湾当局の話では、コロナが落ち着くのは来年末頃かなとのようです。来年の台湾支部総会は、11月20日を予定していますので、そのころまでに入国規制が解除されるのを願うばかりです。

（台湾支部 幹事長 鍾元彬）



頼前支部長(左)と林支部長(右)



設立総会の様子



プチ旅行集合写真

令和3年(2021年)の行事予定

●●● Topic

令和3年の校友会関係の行事このように決まりましたのでお知らせします。

- 5月22日 福岡県支部総会 ※福岡市地域支部新年交礼会は中止となりました
- 10月16日 韓国総会
- 11月6、7日 福島大会
- 11月20日 台湾総会

▼ コロナ禍の中でも「前へ」——久留米絨 未来プロジェクト

コロナに明け暮れたこの1年。その重苦しいこの時期に、地域を活気づけようと次のステップに踏み出している校友たちがいます。「青は藍より出でて藍より青し」や「出藍の誉れ」などのことわざに出てくる「藍」にまつわるプロジェクトの話です。「藍」についてはNHKのEテレ「サイエンスゼロ」でも効能が紹介されましたが、そのプロジェクトメンバーである大坪校友に寄稿していただきましたのでご紹介します。

2020年2月、久留米大学経済学部・伊佐淳教授（H4政経院）、株式会社オカモト商店 野口和彦社長（H2商卒）と有限会社一期一会 大



藍色の染料となる藍草

坪耕二（H5経営卒）などが中心となって、産学連携の「久留米絨 未来プロジェクト」の枠組みを立ち上げた。「機能性ミネラル水活用農法」という温故創新の技術によって久留米絨の伝統を繋いでいくために、北部九州では栽培が途絶えてしまった藍草の栽培からジャパンプルーの天然染料を製造していくことに挑戦し、その過程を久留米大学の学生など若い世代に「体感」を通して共有していくことで、久留米絨へのより深い認知と共感を継続的に獲得していく取り組みである。

日本国内に自生しているタデアイ科の藍草からつくられる天然染料「染（すくも）」は現在、徳島の実質3軒の藍師と呼ばれる伝統工芸師によって製造されている。そして、染の生産は、手作業での過酷な発酵工程（藍草の乾燥葉に水を加え、強烈なアンモニア臭の中で120日以上かけて行われる）や藍草栽培の農家の高齢化などで風前の灯となってしまっている。こうした現状を踏まえ、重要無形文化財でもあり、「綿の糸から染める綿織物」である久留米絨に携わる人々は、「このままだと藍草の天然染料が途絶えてしまうのではないかと」といった強い危機感を共有している。そんな危機感の中、北部九州で途絶えていた藍草の栽培を復活させ、その藍草を使って天然染料を製造し、天然由来の着心地の良い本来の久留米絨の再生を目的として、「久留米絨 未

来プロジェクト」を立ち上げたのである。

2020年3月、藍草の種より育苗をおこない、5月には藍草の苗の植え付けを行った。

「機能性ミネラル水」活用農法を採用し栽培期間中、

農薬不使用・化学肥料不使用（有機肥料のみ使用）を実現しながら、学生メンバーとともに7月に1回目の藍草収穫、8月に2回目の収穫を実施し、順調に藍草の試験栽培をすすめてきており、12月には来年度の栽培に向けて藍草の自家採種をおこなう予定である。

また、8月には久留米シティプラザ内のザ・グラウンドホールにて今年で5年目となる久留米大学法学部主催の「絨フェスタ2020 Luce」が開催され、同フェスタにおいて久留米大学の学生メンバーが成果発表をおこなった。

さらに、試作した天然染料は随時、久留米絨 重要無形文化財会員の山村省二氏にて評価を行っていただくことになっており、来年度は地元

の農家による藍草の試験栽培も決まっている。「機能性ミネラル水活用農法」により栽培期間中、農薬不使用・化学肥料不使用で栽培された品質の高い藍草は、天然染料の原料としてだけでなく、藍茶や食用などへの活用も期待されている。

藍草栽培による地域農業の再生や天然染料製造という新しい産業の創造、若い世代への「久留米絨」への体感を伴うより深い認知と共感を継続的に獲得していくことを通じた草の根的なブランディング活動などにより「地域創生」を実践する「久留米絨 未来プロジェクト」の活動は、久留米を中心に大きな広がりを見せつつある。今後も我々の活動にご注目いただきたい。

（H5経営卒 大坪 耕二）



藍草の収穫風景



久留米大の学生メンバー

令和2年度年会費3,000円納入と支部サポーター募金のお願い

明治大学校友会福岡県支部は本部管轄で運営されておりますが、福岡市地域支部は、皆さまの年会費で活動しております。福岡市地域支部の会計年度は、4月から翌年3月までの、1年間になります。毎年、夏号としてお届けしております、支部便り「風のふくおか」に同封の振込用紙で、多くの校友の方からは、年会費を納入頂いており、その納入頂きました方々のお名前は、支部便り冬号の納入者一覧（下段に記載）で、お知らせしております。

おかげさまで、近年は年会費とは別に、多くの方からサポーター募金を賜ることができ、年2回お届け致します支部便り（風のふくおか）や、ホームページの維持等、より充実した支部活動が行えております。まだお手続きがお済でない校友がいらっしゃいますので、今回も全ての方へ、金額未記入の振込用紙を同封させて頂いておりますので、3,000円より多くの金額を賜りましたら、地域支部サポーター募金として、より幅広く、支部の活性化に役立てたいと思っております。地域支部運営のための、さまざまな活動の基本となります年会費ですので、皆さま方のご理解とご協力のもと、金額をご記入のうえ、同封の払込取扱票のご利用をよろしくお願い申し上げます。

【お願いとお知らせ】

年会費振込用紙へのお名前の記載について、お手順をお掛けしますが、楷書で記入いただきますよう、宜しくお願い致します。また、会費の集計とお名前の記載には、万全の注意を払っておりますが、漏れや誤記がございましたら、ご面倒ですが事務局まで連絡をお願い致します。福岡市地域支部会計年度は、毎年4月から翌年3月までの1年間です。

この振込用紙は夏と冬に、2回同封されますが、ご自身のお名前を確認のうえ、二重払いのないように、お振込方宜しくお願い致します（福岡市地域支部会計より）

令和2年4月1日から12月11日までに年会費を頂きました校友のお名前は下段に記載です。

【新年交礼会中止のお知らせ】

2021年（令和3年）新年交礼会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、誠に残念ではございますが、中止とさせていただきます。次回皆さまとお会いできるのは、2021年5月22日土曜日、福岡県支部総会・懇親会（八仙閣本店）を予定いたしております。一日も早い新型コロナウイルスの収束をただただ祈るばかりでございます。

納入者一覧（敬称略 50音順）

※令和2年12月11日現在、事務局へ連絡分

青木太志	江口正明	古賀喜之	庄嶋敏彰	田中裕一郎	西嶋宏治	逸見明正	矢谷学
安心院将平	江島章	古賀之士	正司祐三	田中幸穂	野村小波	細川政春	山内計壽
麻生静四郎	太田秀信	後藤峻一	城島宏典	谷本進	橋本敏夫	本田順子	山口憲二
飯田頭	大塚博暉	薦田茂久	白水将照	津島潔	長谷川敏夫	本田博志	山口春幸
石田悠	大堀貢	古森則光	神野泰朗	津山武雄	花房氏一	牧原陽一	山崎重喜
一丸秀秋	岡本彰	斉藤七平	末森茂一	土井経世	馬場崎彰	松尾洋爾	山田記義
井手健	尾立光明	齊藤信泰	壽崎豪	藤洋子	濱田英夫	松原徹男	葉照子
伊東吉之助	片岸誠	鷲山陽一	鈴木弘幸	富永信吉	林弘己	松本正剛	吉田正文
犬塚慶彦	香月健志	笹渕ちはる	善敏治	留川公明	樋口俊司	松本優三	吉田進一
井野真寿美	香月徳子	佐藤洋	高野礼子	友添真弓	姫地徳子	松山孝義	吉田幸滋
井上重男	香月茂樹	佐藤剛	高松康祐	長岡謙二	兵藤文雄	三角勝信	吉村孝行
井上康正	金丸順一	佐藤弘隆	高村和久	中倉淳一	広渡憲明	三井成隆	吉本匡克
今留主邦明	鐘ヶ江哲也	志賀昌人	高柳詔一	中島孝芳	藤瀬浩幸	満木浩昇	
岩崎明弘	川原均	重村正昭	高山展誉	永島隆一	藤野勝也	宮原誠一郎	
岩田憲明	菊池富雄	篠原旭徳	田籠太郎	長瀬宏一	藤柝宣宏	向川原賢之	
内田紀生	木原正勝	島田友喜	立木法之	中野正	藤山隆俊	森山奉行	
内野辰彦	国武秀則	清水和人	橘園一	中原淳二	二木清彦	安河内宏	
瓜生勇	黒川正道	清水保一	田中久也	中村衛助	古田俊隆	安田誠一	